



つながろう

CO-OP アクション情報

2012年6月27日

第 18 号

「にこちゃん号」で笑顔を広げたい

いわて生協 移動販売車の運行スタート



初日から、大賑わいの「にこちゃん号」。順番待ちの間に自然と会話が生まれる。

6月18日、いわて生協は、被災地での買い物を支援する取り組みとして、ベルフ西町の商品を積み込んだ移動店舗「にこちゃん号」の運行をスタートさせました。



「にこちゃん号」の全景。



「鮮度と惣菜の品揃え」に力をいれており、地元では魚1匹丸ごと買う習慣があるため、「丸物」を用意して販売。

いわて生協は、6月18日、宮古市内に点在する仮設住宅17カ所（680戸）を2つのコースで巡る移動店舗「にこちゃん号」の運行を始めました。

取り扱いアイテムは約600点で、そのうち6割が生鮮品です。商品は、ベルフ西町の商品を積み込みます。「にこちゃん号」の駐車場所は、地域商業者の復興の妨げにならず、また、仮設住宅の方とその周辺にお住まいの方が交流しやすい場所を選びました。いず

れは2号車を用意して、けせん（大船渡市、陸前高田市）・釜石地域でも運行させる考えです。そのための募金活動もスタートしました。

いわて生協常務理事の阿部慎二さんは「移動店舗は過渡的な存在です。最終目的は皆さんが以前の暮らしを取り戻すこと。私たちは『にこちゃん号』が役割を終える日が1日でも早く訪れることを願っています」と話していました。